

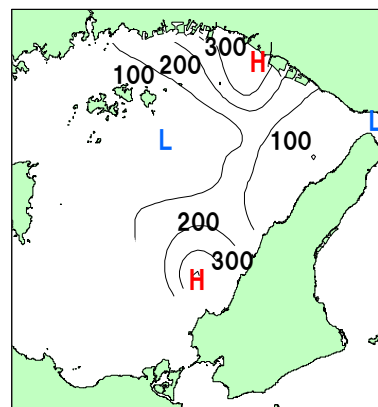
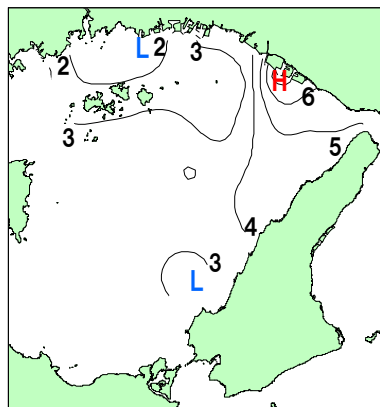
※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成31年1月30～31日の水平分布状況(表層、実測値)

溶存態無機窒素濃度(DIN, $\mu\text{mol/L}$)

ユーカンピア(cells/ml)

コスキノディスクス(cells/L)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部の表層の DIN 濃度は、概ね $6\mu\text{mol/L}$ 以下でしたが、高砂以西の北部沿岸表層では、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。播磨灘全域で大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーが急増しています。穏やかな天候が続いていることから、中、底層に分布が多い傾向にあります(多い所では約 1200cells/L)。適度に栄養塩があり、穏やかな晴れの日が続くと、コスキノディスクスワイレシーの大量発生が継続する可能性がありますので、今後の動向には注意して下さい。小型珪藻やユーカンピアは、少ない状況です。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みとされ、西部近隣海域の栄養塩濃度も低下していることから、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移はやや低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 1月31日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(2/1～2/7)の近畿地方は、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間の前半は雨や雪の降る日が多いでしょう。なお、3日頃は発達した低気圧の影響で荒れた天気となるおそれがあります。

最高気温は、明日(1日)は平年並で、その後は平年より高く、平年よりかなり高い日がある見込みです。最低気温は、平年より高く、平年よりかなり高い日があるでしょう。

降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(1/24)では、牛窓沿岸の DIN 濃度は $3.0\sim 3.2\mu\text{mol/L}$ でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクスは $10\sim 20\text{cells/L}$ 確認され、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyohou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成31年2月8日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>